

春風秋霜

2月号

平成30年2月1日
島田市教育委員会日より
教育長 濱田和彦

春風をもって人に接し、秋霜をもって自らを慎む 佐藤一斎

1 来年度の教育課程について

平成30年度の教育方針について、11月・12月の教育委員会で協議し決定しました。決定した方針は各学校に送付されていますから、この方針を反映した平成30年度の教育課程が検討されていることと思われます。

平成13年度のことですが、県教育長が訪問して行われる移動教育長室が、島田第五小学校において開催されました。保護者や地域とともに創る教育課程の取組が評価されたからです。当時、ほとんどの学校は、新年度になってから、その年度の教育課程を保護者に説明していました。その中で、当時の島田第五小学校は、教育課程編成中の前年度の2月に説明会を開催し、保護者や地域の方々から意見を聞く中で、教育課程を決定していました。

どの学校でも、子供や保護者にアンケートを行い、その結果を教育課程に生かしていますから、保護者の考えが反映された教育課程になっていると思います。しかし、決定する前に再度意見を聞くということは、多様な視点で教育課程を作り上げることになると思います。PTA本部役員や学校評議員に次年度の重点や変更点を説明し、意見をいただくことは検討する価値のあることだと思います。

2 学校訪問を終えて

教育委員は、1月22日（月）で全ての学校の訪問を終えることができました。本年度は、日程調整が難航し、終了までに時間がかかってしまい、申し訳なく思っています。

本年度の訪問を通し、どの学校も大変安定した学校経営がされていたことに安心しました。発達上の特性のある子供もいる中、チームで対応していることが、子供の安定につながっていると思います。子供に寄り添う教師の姿がどの学校にもあったことが大きな収穫です。子供に課題があることは当たり前として受け入れ、どのようにつながるかを大切にしている教師や学校が多いことに感謝しています。大変忙しい中、訪問を受け入れて頂いたことに感謝しています。ありがとうございました。来年度もよろしくお願いいたします。

3 校長との面談を終えて

校長との評価面談をする中で、各学校の「授業が楽しい」「学校が楽しい」「人に役立っている」などの子供の評価が、90%を超す学校の多いことに驚きました。中には、「信頼できる教師がいる」という項目に、96%の子供が手を上げた学校もあります。私自身の経験からは、考えられない素晴らしい値です。教師冥利に尽きるといえる値です。

アンケート結果に学校の安定感が表れていると思います。しかし、「子供の回答より実態はもう少し厳しい」と答えた校長もいます。高い数字に安心することなく、自分の目で見たことを基に、質の向上を求める姿勢に感謝したいと思います。

4 成人式に参加して

1月7日（日）に成人式が行われました。出席率は昨年に比べ、3.2%上がり、76.9%でした。参加者へのアンケートの結果では、89%の参加者が「よかった」と回答しています。一部、式中に席を離れる成人はいたものの、進行を妨害するまでの動きはなかったので、

式典としては成功したと思います。

成人のアンケートには、大塚ハレルヤさんの三味線演奏や中学校ごとの交流会に高い評価が見られました。交流会に参加していただいた多くの先生方に感謝申し上げます。

私も、島田第二中学校勤務時に関わった生徒と話をしましたが、確かな成長に安心しました。成長した成人に会えるのは楽しいものです。来年の成人式にも多くの恩師の参加を期待しています。



5 テレビの見方について

12月に教育委員会から『テレビの見方を考えましょう!』という提言を出したところ、様々な方から賛同を得ました。ある小学校低学年の子供を持つお母さんは、「子供に見せない番組を決めた」と言っていました。小学校高学年の子供を持つお父さんは、「何でも見せているけど、一言感想を言うようにしている」と言っていました。

ヤフーニュースでは、タイ式ボクサーにキックされたタレントのベッキーさん出演の番組が、問題視されていました。民生委員を務めている教員OBは、「提言を見たが、年末・年始の番組には、子供に見せたくない番組があり、同感した」と言っていました。

このような反応があるということは、提言を配布する時に、適切に指導していただいている担任の存在が大きいと思います。教育委員会の提言について真剣に受け止めていただいていることに感謝します。

肘かけ椅子

鈴木 龍彦

教育総務課長

『他人に迷惑はかけません』

「自分の記憶の中で、母親からこんなに怒られたことはなかった。」

先日、成人式を終えたKa君の話です。

成人式の前日、地元で行う式典の準備を終え、打合せを兼ねた慰労会の中で、同級生の中でもイケメンながらとても真面目で控えめなKa君が、「髪の毛、染めてみたいな。」とぼそり。

近くでこれを聞いたFu君たちが、目を丸くして「Kaが？」とびっくりした後、ニヤリ。すぐさま毛染めの購入へ。散々いじりまわした後、美容師の卵が仕上げをして見事な金髪青年が完成。

事件発生は、翌日。朝帰りのKa君を見た母親が激怒！この大切な日にどうして、これでは記念写真が撮れないだの、親戚への挨拶回りに行けないだのと、散々。それらの声を背中に、本人は友人たちと写真スタジオへ。仲良し組での集合写真では満面の笑み。この時、喜びいっぱい笑顔を振りまくKa君の口から飛び出したのが、文頭の言葉でした。

成人式の裏方業務の一つに、やんちゃ君に対する目配りがありますが、端的には外見での判断です。式典に並ぶ派手な成人者の中には、やんちゃもどきがある程度いるんだろうな。そう思うと、次の成人式からは多少大らかな心持ちで裏方業務に取り組みそうです。

なお、式典の翌日、素直に黒髪に戻したKa君は、母親の希望に従い、さわやかな面持ちで写真の取り直しをしたようです。